

外洋海域の海水モニタリング結果について

海上保安庁では、東京電力福島第一原子力発電所事故に対応する「[総合モニタリング計画](#)」において、海域モニタリングの調査点として位置づけられた外洋海域の海水モニタリングを実施しました。この度、分析が終了しましたので、結果を報告します。

◎調査の概要

試料採取日:平成 29 年 5 月 17 日～19 日

試料採取点:K-1,K-2,K-3,K-4(付図参照)

採取層:表層及び中層(海面から深度 520m～730m 付近)

測定核種:セシウム-134(Cs-134) 半減期 2.1 年
セシウム-137(Cs-137) 半減期 30 年
ストロンチウム-90(Sr-90) 半減期 29 年

◎海水中の放射能濃度

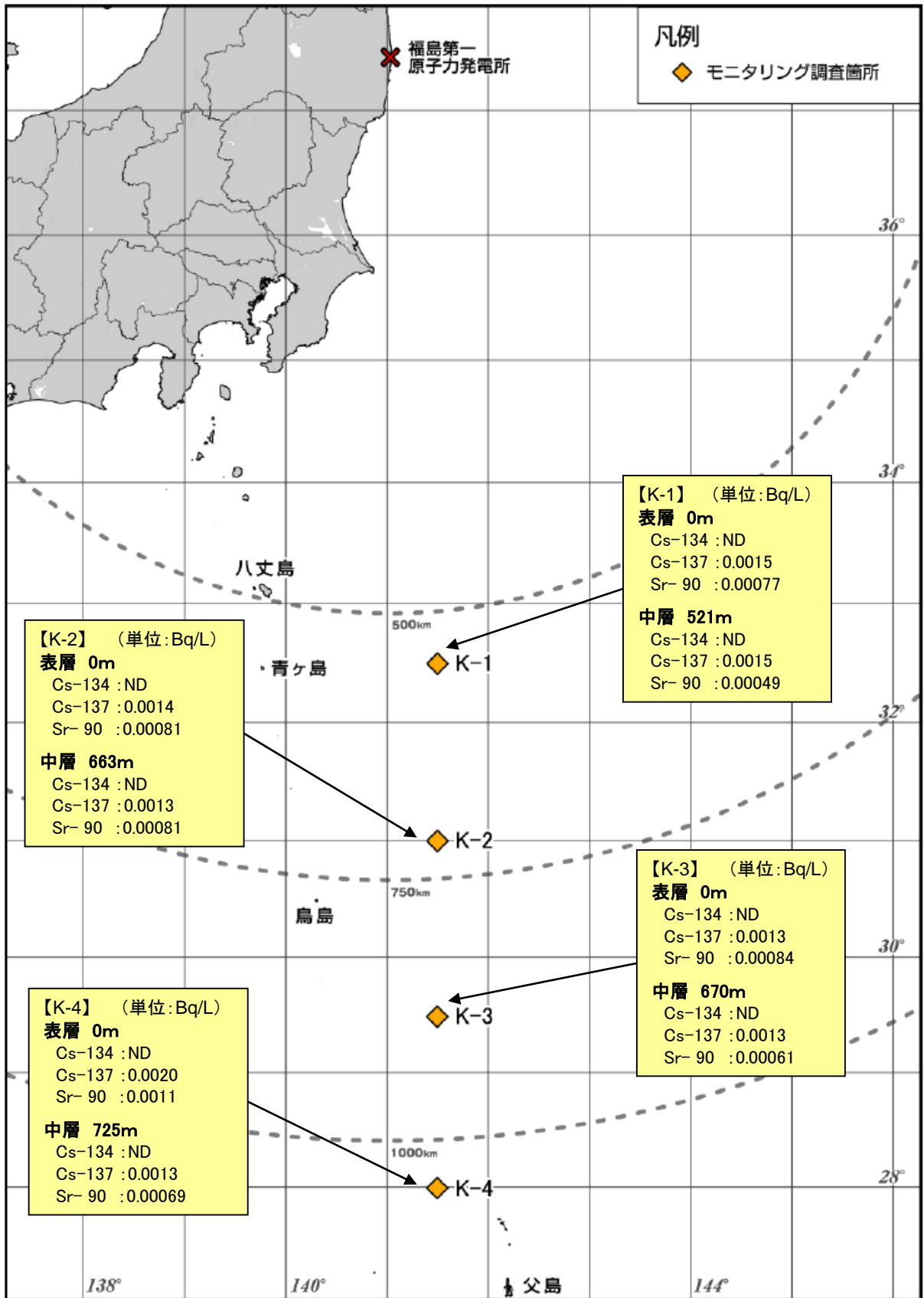
試料採取点	採取日	位置		採取深度 (m)	放射能濃度(Bq/L)		
		北緯	東経		Cs-134	Cs-137	Sr-90
K-1	2017/5/19	32°30'	141°30'	0	ND	0.0015	0.00077
				521	ND	0.0015	0.00049
K-2	2017/5/18	31°00'	141°30'	0	ND	0.0014	0.00081
				663	ND	0.0013	0.00081
K-3	2017/5/18	29°30'	141°30'	0	ND	0.0013	0.00084
				670	ND	0.0013	0.00061
K-4	2017/5/17	28°00'	141°30'	0	ND	0.0020	0.0011
				725	ND	0.0013	0.00069

ND の記載は、海水の放射能濃度の検出値が検出下限値を下回ることを示す。

セシウム-134 は、すべての試料で不検出。セシウム-137 は、0.0013～0.0020Bq/L、ストロンチウム-90 は、0.00049～0.0011Bq/L で、それぞれの過去 3 年間の範囲は 0.0009～0.0023、0.00057～0.0012Bq/L であり、変動の範囲内または下回る結果でした。

【担当】海上保安庁海洋情報部環境調査課海洋汚染調査室
電話:03-5500-7129(直通)

外洋海域の海水モニタリング結果 (平成29年 5月17日～19日 採水)



※ NDの記載は、海水の放射能濃度の検出値が検出下限値を下回ることを示す。